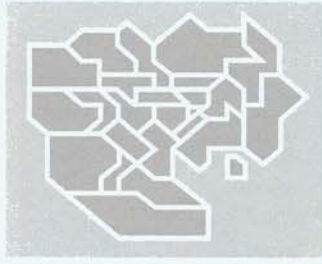


街



散歩

M A C H I A . S A M P O

日本橋・中央通り界隈 — 歴史に彩られた街を巡る

“江戸の台所”として栄えた日本橋。今も、その名残りとどめる老舗や大手百貨店が建ち並ぶ中央通りの歴史ある風韻。日銀をはじめ、多くの都銀・地銀、証券会社が林立する“金融街”という重厚な側面……。江戸、明治、大正、昭和と、常に商業経済の表舞台で、時代の最先端を歩み続けてきた伝統を背景に、商業文化を支えてきた人々が捉える現在の日本橋とは……。今号は、今という時代の「明」と「暗」を鮮やかに映し出す、日本橋の横顔を探す散歩です。



中央通り・三越付近

日本橋のメインストリート、中央通り。この通りにあって、とりわけ老舗が多く軒を連ねるのが宮田地下鉄銀座線・三越前駅付近でしょう。

鏗節から刃物まで、老舗の看板が軒を連ねるなかで、特に「食」に関

するアイテムは、一度は目に（口に）したことがあるものばかり。店先にある看板の文字は、幼い頃、無意識に記憶された商品名が“屋号”と深く結びついていることを気づかせてくれます。

これら老舗が並ぶ街並みと中央通

りを挟んだ向かい側に威風堂々とした佇まいを見せているのが、駅名にもなっている「三越本店」。

明治41年の改装により、日本で初めて下足のまま買物できる百貨店として名を馳せた三越のシンボルは、何といたっても入口にある2頭の



日本銀行



日本橋魚河岸の碑



日本橋



老舗の看板



三越本店のライオン像

ライオン像。「誰にも見られずに背中
中にまたがると、願いが叶う」とい
う噂さえある彼らは、この街を代表
する待ち合わせ場所として、365日、
獅子奮迅のはたらきをしていると
か。

また、三越前駅周辺は、三井本
館・別館を中心とした三井系の企業
が多く集まる街として、また、地銀
が多い金融の街としての一面も持っ
ています。それもそのはず、中央通
りから西一本裏手に入ったところ
には、日本銀行の威容が顔をのぞか
せています。江戸時代、この場所は、
金貨を鑄造していたことから「金座」
と呼ばれていました。ここで作られ
たお金が人々の手に渡り、すぐ表側
の商店に戻ってくるのですから、な
るほど、「金は天下の回りもの」と
いう言葉も、素直に納得できます。

しばし、その向いにある貨幣博物
館でお金の歴史を学び、賑やかな中
央通りへと戻ります。

陽のあたらない日本橋
中央通りを南へ向かうと、地名で

もある「日本橋」にいいよさしか
かります。

ルネサンス様式の流れを受け継ぐ
日本橋は、首都高速道路によって日
差しを遮られ、小暗い雰囲気漂わ
せています。橋の北端に建つ魚河岸
跡記念碑は、“江戸の台所”と呼ば
れ、鮮魚が売り買いされていた往時
の賑わいを偲ばせます。

橋上を進み、竜の彫刻を横目にみ
ながら対岸へ渡ると、日本橋交番が
あります。ここは昔、罪人をさらし
首にした場所ということで、長居は
無用。さらに南へ進みましょう。

東急日本橋店の閉鎖

寛永2年（1625年）の創業以来、
ダンスホールや映画館など、趣向を
凝らした集客方法で、日本橋の大手
百貨店ブームの礎を築いたといわれ
る東急日本橋店（旧白木屋）。三越、
高島屋と競い合いながら、日本の商
業文化の発展を支えてきました。

しかし、平成11年（1999年）、
370余年の長い歴史に幕を下ろし、
今は、その面影を見ることはできま

せん。一つの時代を画すこの出来事
は、同じ日本橋に店を構える多くの
商人にとって、大きな衝撃とともに、
一つの時代の終焉を思わせたに違い
ありません。

江戸商人の心意気

江戸の起りから、商業を通じて
力強く生きた日本橋の商人たち。一
つの商品にこだわりを持ち続け、天
下の表通りで営々と看板を掲げ続け
る老舗。堂々たる外観に包まれ、気
品漂う店内に多趣多彩な商品を陳列
する大手百貨店。東急日本橋店閉鎖
が映し出す現代の世相下でも、その
江戸商人の心意気は、そこで働く
人々に脈々と受け継がれているよう
に思えた『街散歩』でした。

参考文献

- 巡検コースガイド
『地図で歩く東京』
監修／全国地理教育研究会、
日本地図学会
編著／東京都地理教育研究会、
東京私立中学高等学校地理教育研究会